



2016/3/2 発行



山 | 梨 | 大 | 学 | | 新 | 技 | 術 | 情 | 報 | ク | ラ | ブ |



～ インフォメーション ～



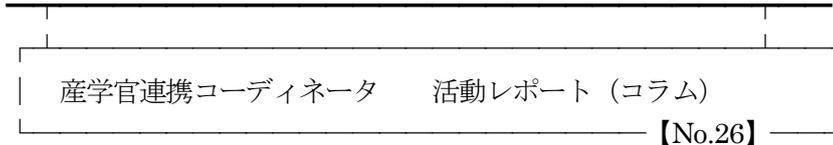
【第 27-22 号】



本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ

最新情報をお知らせする目的で配信しております。

メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。



新技術情報クラブ会員の皆様

いつも情報クラブの活動をご支援いただきまして誠にありがとうございます。

本年度もいよいよ最後の月を迎えまして振り返ってみる頃となりました。

何と申しましても大村先生のノーベル賞受賞が大きなトピックでした。本学卒業生そして本県出身者とのことで地域が大いに沸いております。

ご存じの方も多いとは思いますが、韮崎市ではあちらこちらにのぼりが立ち並びました。また本学のキャンパス等でも祝いの掲示がなされております。

詳しくは以前のコラムにもありましたので割愛いたしますが、これからの若手研究者にとって大きな目標となったことと思います。

ところで、新技術情報クラブは平成20年度に解散をした「株式会社山梨ティー・エル・オー」の流れを汲んでおります。スタート当初はもっぱら大学の特許資産を使っていただく事を目指しておりましたが、製品イメージまで遠いものが多く商品化まで多大な開発費を要する点が中小企業様ではネックとなっておりました。ところが現在では、特に地域に貢献することが強く求められて来たこともありまして、企業様のニーズにこたえるような技術課題を率先して研究するスタイルに移行しつつあります。これは、国の競争資金公募にも表れつつありまして、企業様と一緒にいないと申請が出来ないものが大半になりつつあります。この中でも企業様の投資も合わせて必要な「補助金スタイル」が増えてまいりましたのは、事業確率の高い本気度が見られるテーマに絞ろうという現われになっております。文部科学省は本来教育機関の所轄ですので基礎寄りのテーマ支援を行って来ておりますが、文部省傘下にある科学技術振興機構の資金もこの傾向が強められており、事業化が推定できないと採択を受け辛くなりつつあります。経済産業省系はさらに進められていて石油換算での改善値が条件に加わるものも散見されてきております。

このような背景のもとで、以前私のコラムに書きました様な「地方貢献大学」にとっては徐々に応用技術のウェイトが高まるものと拝察しております。本県山梨では、即戦力の高い人材養成を目指して工業高校に専攻科設置の話題が出ております。大学との相乗効果が出る様な連携の必要性が議論となりそうです。

さらには、基礎技術と応用技術のバランスについて難しい局面を迎えるかもしれないと拝察致します。この面では、大学においても商品化や市場動向の目利きが必要となるのではないのでしょうか。

さてここで、以前お送りした内容も含めて事業経過のご報告を付記しておきます。

◎ (COC+)

すでに前回の私のコラムに予告を書きましたが、平成28年1月21日にホテル談露館でキックオフがなされました。

主な目標は「若者に魅力ある就職先を地域で創出・開拓するとともに、実践的な地域志向型人材を育成する」になります。会員企業様におかれましても優れた人材雇用に結びつく事へ、私も微力ながら尽力したいと思います。

また、特徴的な仕組みがスタートしておりまして、クラウドファンディング山梨版の「FAAVO やまなし」になります。本学でも学生がベンチャーを起こしたいとの声が多めに聴かれるのですが、多くの場合のネックは事業費になっております。少なくとも立ち上げ時には機材購入・名刺作成・作業場所の確保などの工面が必要となるのですが、実際には担保もないことが多くなかなか融資を受けられません。

この「FAAVO やまなし」を利用しますと、魅力と可能性があれば賛同者からの資金を集めることが出来ましてビジネスチャレンジをする可能性が広がります。詳しくは次のURLからご覧ください。 <https://faavo.jp/yamanashi>

◎ (水素・燃料電池ネットワーク協議会)

設立してから半年がたち、多少知名度が上がった事からか飛び込みの共同研究希望が散見され始めました。ここには詳しく書けませんが、協議会スタッフの技術担当者が自動車用や定置型の燃料電池専門家なので、異なる様々な用途の話を伺え10年後くらいが楽しみになって参りました。また、新聞等でご存じの方も多いと思いますが、2月22日に水素ステーションの開所式が甲府市飯田で執り行われました。

◎ (予告：農場ゼミ『シャインマスカットの育成について』開催)

会員の皆様の中にも、すでに求道栽培に進出されたり計画をされたりしている方もおられるかとは思いますが、このたび平成28年3月18日(金) 15:00から「山梨大学生命環境学部附属農場(甲府市小曲町字上五割675-1)」です。

山梨大学生命環境学部附属農場 山下裕之

TEL：055-241-6384 FAX：055-241-6383

E-mail: hyamashita@yamanashi.ac.jp

最後までお読みいただきまして、誠にありがとうございました。

文責 統括コーディネータ・准教授 還田隆

↓↓↓ メールマガジンに続きます。 ↓↓↓

■メールマガジン目次

- 01：イベント、セミナー情報 (8件)
 - 02：公募情報 (5件)
 - 03：プレス情報(山梨大学) (4件)
 - 04：その他 (2件)
 - 05：他大学イベント案内 他 (2件)
-



■ 01: イベント情報 (8件)

[1] 3/2-3/4 FC EXPO 2016 ～第12回 [国際] 水素・燃料電池展～
東京：ビックサイト <http://www.fcexpo.jp/>

◆会期：2016年3月2日(水)～4日(金) 10:00～18:00
(最終日は17:00まで)

◆会場：東京ビックサイト

<http://www.fcexpo.jp/To-Visit/Venue-Info-Access/>

◆専門技術セミナー：<http://www.fcexpo.jp/seminar/?fm=mega>

[2] 3/18 広域関東圏水素・燃料電池シンポジウム
「関東圏における水素・燃料電池社会の実現に向けて」

経済産業省、関東経済産業局は以下要領で、広域関東圏水素・燃料電池シンポジウム「関東圏における水素・燃料電池社会の実現に向けて」を開催します。詳細はリンク先で確認下さい。

※リンク先

http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/shiene/20160318_fc_seminar.html

●開催概要

1. 日時：平成28年3月18日(金) 13:30～16:30
2. 場所：富国生命ビル 大会議室(千代田区内幸町2丁目2-2)
3. 申込方法：リンク先で確認下さい。

http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/shiene/20160318_fc_seminar.html

●開催主旨

経済産業省では、2013年に産学官からなる「水素・燃料電池戦略協議会」を設置し、2014年6月には「水素・燃料電池戦略ロードマップ」を取り纏めました。現在、同ロードマップで定められた目標に基づき、国、地域、産業界等において様々な取組が進められているところです。

本シンポジウムでは、水素社会の実現に向けた取組の加速化を目指し、水素ステーションの整備や燃料電池自動車の導入促進、市場規模の急速な拡大が期待されている関連産業の振興、地域の特徴や特性を生かした再生可能エネルギーの利活用などの視点から、関東圏における水素社会の実現に向けた取組と今後の課題や展開等について、具体的な事例を交えながら紹介します。

また、関係省庁、自治体、産業界等を構成メンバーとし、関東圏における関係者間の情報共有や関連産業の支援を行うためのプラットフォーム(関東圏水素・燃料電池連携体(仮称))の結成構想についての説明も行います。なお、本シンポジウムは(一財)日本立地センターの後援を得て、経済産業省関東経済産業局が主催するものです。

●プログラム

1. 開会挨拶

経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部長

2. 講演・事例発表

- ・「水素社会の実現に向けた取組の加速～ロードマップの改訂状況について～」

星野 昌志 資源エネルギー庁 燃料電池推進室 室長補佐

- ・「燃料電池バレーの実現に向けた山梨県の取組」

志村 篤紀 山梨県 産業労働部 成長産業創造課 副主査

- ・「S I C燃料電池研究会の今までの10年、これからの10年」

永井 直文 株式会社さがみはら産業創造センター
燃料電池研究会 プロジェクトリーダー

- ・「水素エネルギーの利用と安全について」

廣瀬 正典 水素供給・利用技術研究組合 (HySUT)
安全基盤研究部長

- ・「水素・燃料電池分野ビジネスマッチングの取組と実績」

田島 収 一般財団法人大阪科学技術センター
技術振興部 コーディネーター

3. 構想説明

「関東圏水素・燃料電池連携体（仮称）」の立ち上げについて
経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部長

●本ページに関するお問い合わせは

関東経済産業局資源エネルギー環境部
地域エネルギー振興室 TEL 048-600-0357

[3] 3/11 平成27年度

埼玉県熱処理技術研究会「第24回熱処理発表会」開催

埼玉県は以下要領で、平成27年度埼玉県熱処理技術研究会「第24回熱処理発表会」を開催します。詳細はリンク先で確認下さい。

※リンク先

<http://www.saitec.pref.saitama.lg.jp/semina/knzk/160311netsu.html>

●開催概要

1. 日時：平成28年3月11日（金）13時30分～16時00分
（開場は13時15分頃から）
2. 会場：埼玉県産業技術総合センター 4階 4ABC会議室
川口市上青木3-12-18 SKIPシティ内（駐車場有り）
3. 定員：50名（先着順）
4. 参加費：無料
5. 申込方法：リンク先で確認下さい。
6. 申込期限：平成28年3月7日（月）

●講習内容

1. 「窒素による金属の硬化法」
（株）日本テクノ 社長 梶澤均氏

2. 「磁気測定的基础」

電子磁気工業(株) 開発部開発課課長 岩田 成弘 氏

3. 「排熱回収による省エネ活動」

(株)オーネックス 生産課課長 尾上 幹浩 氏

4. 「高周波焼入れ部品のロボット導入改善」

(株)ヨシノハード 技術営業担当常務取締役 押味 直人 氏

●お問い合わせ

埼玉県産業技術総合センター 技術支援室 材料技術担当

TEL 048-265-1369

FAX 048-265-1334

[4] 3/3-4,3/10-11 開催 三菱総合研究所

「医療機器分野における事業化促進人材向けセミナー」開催ご案内

株式会社 三菱総合研究所は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 委託事業 医療機器分野における事業化促進人材向けセミナー ～「オールジャパンでの医療機器開発」実現のための支援人材の育成～を開催します。

詳細は、プログラムA,Bそれぞれのサイトを確認の上お申し込みください。

●プログラムA：コーディネーション基礎

<https://mri-seminar.smktg.jp/public/seminar/view/295>

<3月3日 13時30分～17時30分>

【1】 オリエンテーション

【2】 医療機器市場の定義・市場

【3】 医療現場とのネットワーク構築 (終了後懇親会)

<3月4日 9時00分～15時30分>

【4】 関連支援施策

【5】 医療機器と知財

【6】 医療機器デザインと現場への提案力

【7】 医療機器ビジネス概論

【講師】(登壇順)

先端医療振興財団 専門役 仲西孝弘氏

先端医療振興財団 調査役 黒木俊博氏

公益財団法人 医療機器センター 主任研究員 鈴木孝司氏

合同会社コンピエーレ 代表 麻坂美智子氏

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

三菱総合研究所

●プログラムB：事業化コンサルティング基礎

<https://mri-seminar.smktg.jp/public/seminar/view/296>

<3月10日 13時30分～17時30分>

- 【1】 オリエンテーション
- 【2】 関連支援施策
- 【3】 医療機器と知財
- 【4】 対人スキルと課題解決スキル
(終了後懇親会)

<3月11日 9時00分～16時30分>

- 【5】 マーケティング
- 【6】 中小企業のコンサルティング
- 【7】 コンサルシュミレーション
- 【講師】 (登壇順)

KHE コンサルティング・KHE 国際特許事務所 小西 颯氏
合同会社コンピエーレ 代表 麻坂美智子氏
国立研究開発法人日本医療研究開発機構
三菱総合研究所

●お問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所 セミナー事務局 (担当:山岸、大内、魚住)
E-mail : me-jigyouka-seminar@mri.co.jp

[5] 3/15 先端計測分析技術・機器開発プログラム 新技術説明会
<http://shingi.jst.go.jp/kobetsu/sentan/2015/>

- 【日時】 3月15日 (火) 12:20～15:55
- 【場所】 JST 東京本部別館 1F ホール (東京・市ヶ谷)
- 【地図】 <http://shingi.jst.go.jp/access.html>

◆ 「脂肪肝早期診断装置および脂肪肝診断ユニット (市販装置用)」
http://shingi.jst.go.jp/kobetsu/sentan/2015/tech_property.html#tech01
大阪府立大学 大学院工学研究科 電子物理工学分野 堀中博道

◆ 「交番磁気力顕微鏡：空間分解能 5nm と高機能性の実現」
http://shingi.jst.go.jp/kobetsu/sentan/2015/tech_property.html#tech02
秋田大学 工学資源学研究所 附属理工学研究センター 齊藤 準

◆ 「手のひらサイズの中赤外ハイパースペクトルカメラ」
http://shingi.jst.go.jp/kobetsu/sentan/2015/tech_property.html#tech03
香川大学 工学部 知能機械システム工学科 石丸伊知郎

◆ 「コイルを極低温にした高感度 NMR 検出器の開発」
http://shingi.jst.go.jp/kobetsu/sentan/2015/tech_property.html#tech04
京都大学 大学院理学研究科 化学専攻 竹腰清乃理

◆ 「自動・高速輪郭抽出による3次元像可視化ソフトウェア」
http://shingi.jst.go.jp/kobetsu/sentan/2015/tech_property.html#tech05
大阪大学 大学院情報科学研究科 情報システム工学専攻 御堂義博

◆「微小振動計測システム用高感度ひずみセンサ」

http://shingi.jst.go.jp/kobetsu/sentan/2015/tech_property.html#tech06

東北大学 電気通信研究所 石山和志

◆「近赤外蛍光団/消光団の開発と実用的蛍光プローブの創製」

http://shingi.jst.go.jp/kobetsu/sentan/2015/tech_property.html#tech07

東京大学 大学院薬学系研究科 薬品代謝化学教室 花岡健二郎

[6] 3/22 関東経済産業局主催 ”データから地域を見てみよう！”
「地域ビッグデータによる地方創生施策立案セミナー」

関東経済産業局は、”データから地域を見てみよう！”をテーマに「地域ビッグデータによる地方創生施策立案セミナー」を開催します。詳細はリンク先で確認下さい。

※リンク先

http://www.kanto.meti.go.jp/event/20160322resas_seminar.html

●開催概要

1. 日 程：平成28年3月22日（火） 14：00～16：00
2. 場 所：さいたま新都心合同庁舎1号館 2階講堂
(埼玉県さいたま市中央区新都心1-1)
3. 参加費：無料
4. 定 員：300名

●お申し込み方法→リンク先で確認下さい。

※原則として先着順とします。お申込受諾の連絡はいたしませんので、直接会場にお越しください。

http://www.kanto.meti.go.jp/event/20160322resas_seminar.html

●内 容

1. 基調講演「産業立地と地方創生の新しい方向性（仮）」
東京大学大学院総合文化研究科 教授 松原 宏 氏
2. RESAS 等による地域経済分析の実例
栃木県大田原市、千葉県南房総市、東京都日野市、新潟県燕市、長野県飯田市
3. パネルディスカッション
～ビッグデータによる地域課題の把握と解決手法（仮）～
 - ・東京大学大学院総合文化研究科 教授 松原 宏 氏
 - ・明治大学政治経済学部 教授 森下 正 氏
 - ・燕市長 鈴木 力 氏
 - ・じゃらんリサーチセンター エリアプロデューサー木島 達也 氏
 - ・価値総合研究所 主席研究員 山崎 清 氏
 - ・栃木県大田原市、千葉県南房総市、東京都日野市、長野県飯田市の各自治体担当者

●お申し込み方法→リンク先で確認下さい。

※原則として先着順とします。お申込受諾の連絡はいたしませんので、直接

会場にお越しください。

●お問い合わせ先

経済産業省関東経済産業局
総務企画部 企画課 渡邊、濱口、横川
電話：048-600-0232

[7] 3/14 ヘルスケア産業の最前線 2016

<http://www.meti.go.jp/press/2015/02/20160223004/20160223004.html>

経済産業省は厚生労働省、公益社会法人日本医師会と共同で「ヘルスケア産業の最前線 2016」を開催します。

●本件の概要

経済産業省では、ヘルスケア産業の創出のため、平成26年度から、健康寿命延伸産業創出推進事業として、地域資源を活用するヘルスケアビジネス等の実証支援を行いました。今年度事業の成果発表会を3月14日に開催いたします。

また、今年度からは厚労省と共に、地域を支えるヘルスケアサービス事業者の事例の紹介及び新たなビジネス創造にチャレンジする企業を応援する「ジャパンヘルスケアビジネスコンテスト2016」を初開催いたします。

●開催概要

1. 名称：「ヘルスケア産業の最前線 2016」
2. 日時：平成28年3月14日（月）10:00-18:30（開場：9:30/3部構成）、
3. 場所：日本橋三井ホール（東京都中央区日本橋室町2-2-1 COREDO 室町1）
4. 参加対象：参加を希望される方はどなたでも参加可能です。
（報道メディアの参加有）
5. 参加費：無料
6. 参加申込：https://www.jri.co.jp/seminar/160314_458/detail/

[8] 3/25 地域オープンイノベーション促進事業『医療機器産業支援フォーラム』

（経済産業省平成26年度補正予算事業）

http://www.kanagawa-iri.jp/2016/02/medical_industry.html

このたび、経済産業省平成26年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」において、神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県、横浜市、大阪府、大阪市の参画する「関東圏と関西圏広域連携による医療機器産業競争力強化事業」により、神奈川県産業技術センターに高感度液体クロマトグラフ質量分析装置が導入されました。

今回、この装置の特徴や医療機器開発や医療分野に本装置を活用した事例、産業技術センターの取り組みをご紹介しますフォーラムを開催いたしますので、奮ってご参加ください。

●開催概要

1. 日時：2016年3月25日（金） 14:00～16:30
2. 場所：神奈川県産業技術センター（海老名市下今泉705-1）
管理情報棟3階講義室7-9
3. 参加費：無料

4. 募集人数：70名（定員となり次第締切）
5. 申込方法：参加申込書に必要事項を御記入または同内容をメール本文にご記載の上、3月23日（水）迄に、下記申込先へ、E-mailでお申し込みください。なお、ご参加いただけない場合にはご連絡致します。
 - ・申込期限 3月23日(水)
 - ・申込先 電子メール f-bio@kanagawa-iri.jp
6. 問合せ先：化学技術部バイオ技術チーム 青木 信義
電話 046（236）1500 電子メール f-bio@kanagawa-iri.jp

●開催内容

1. 14:00 開会挨拶
2. 14:05 「産技センターにおけるセンサー開発」
化学技術部 青木信義
3. 14:20 「LCMSMSの基礎と医療機器開発における応用」
日本ウォーターズ株式会社 藪 昌世 氏
4. 14:35 休憩
5. 16:00 産業技術センター装置、設備見学会
6. 16:25 全体質疑討議



■02: 公募情報（4件）

◆1 【公募説明会のご案内】山梨県中小企業団体中央会
平成27年度補正「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」

====前回のメルマガでご案内済みの公募説明会が開催されます。====
平成27年度補正予算による標記補助金に係る公募について、
事業概要、事業スキーム、公募申請等の諸事項についての説明会を
次により開催します。

○説明会詳細および申込書:

http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/wp-content/uploads/2016/02/27mono_01setsu_mei_sanka.docx

○開催日時：平成28年3月4日（金） 13時30分～17時00分

○開催場所：アピオ甲府 3階「王朝の間」（中巨摩郡昭和町西条 3600）

○参加申込方法

申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込下さい。

○申込期日：平成28年3月2日（水）17:00まで

※なお、お電話でのお申込はご遠慮ください。

○注意事項：出席される方は下記URLにて「公募要領」及び「公募申請様式」

を印刷し、当日ご持参ください。

URL : <http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/mono27>

○公募内容概要

1. 事業概要

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセス改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等を支援します。

2. 公募期間

- ・ 受付開始：平成28年2月 5日（金）
- ・ 締 切：平成28年4月13日（水）〔当日消印有効〕

3. 公募要領

公募要領等は山梨県地域事務局（山梨県中小企業団体中央会）のホームページ <http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/mono27> にて参照をお願いします。

○お問い合わせ

ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金/山梨県地域事務局
山梨県中小企業団体中央会 ものづくり支援センター
TEL : 055-237-3215 FAX : 055-237-3216

◆2 【支援パッケージ地方説明会】 厚生労働省を含む関係府省主催
3/16「地方の中核となる中堅・中小企業への支援パッケージ」について
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/about/chushoukigyou/index.html>

中堅・中小企業の活躍を後押しするため、平成26年12月に「地方の中核となる中堅・中小企業への支援パッケージ」（以下、「支援パッケージ」といいます）として、関係府省が持つ中堅・中小企業支援策を取りまとめました。

今般、平成28年度に新規創設・拡充した支援策や活用実績等を追加した、28年度版の支援パッケージを作成し、支援パッケージを効果的に御活用頂けるよう、2月下旬から全国の主要都市において地方説明会を開催いたします。是非、御参加下さい。

●地方説明会

（対象：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、長野、山梨、静岡）
3月16日（水）14：00～ さいたま新都心合同庁舎1号館 2階 講堂
さいたま市中央区新都心1-1

●申し込み方法（申し込み締め切り 3月11日（金））

- ・ 関東経済産業局 総務企画部 総務課 Tel: 048-600-0213 FAX: 048-601-1310
- ※関東説明会は以下のURLからもお申し込み可。

https://www.meti.go.jp/kanto/event/20160316chiho_setsumeikai_form.html

●制度詳細、地方説明会日程、申し込み方法（内閣府ホームページ）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/about/chushoukigyou/index.html>

●支援パッケージのポイント

支援パッケージでは以下の構成で支援メニューを御用意しており、地方の中堅・中

小企業の人材の確保・育成から、製品の開発・生産、活躍舞台の国際化までを応援します。

1. 活躍の舞台を世界に

自社製品の海外輸出に向けた海外展示会・見本市への出展支援や、TPP協定を活用した海外展開を後押しするための情報提供、各種支援機関等が結集したコンソーシアムによる総合的な支援等。

2. 製品の開発・生産力アップ

中堅・中小企業が新製品の開発を積極的に行うための、各地の公的研究機関等との共同研究を行う際の助成制度や、成長分野での事業拡大を資金面でサポートする制度等。

3. 人材の確保・育成

グローバルに活躍できる人材の育成のための教育機関への各種支援制度や、育成した学生と地域の中堅・中小企業を結びつけるインターンシップの充実、社会人の育成のための助成制度等。また、後継者の確保という側面から事業承継に向けた専門家支援や資金面のサポート。

4. 農林水産・食品分野の取り組み

日本産の農林水産物・食品に焦点を当てた、海外輸出の準備段階から輸出の実行、6次産業化、国内外で活躍できる人材育成等

5. 横断的な取り組み

各種税制における中堅・中小企業向けの軽減措置や、地方の中堅・中小企業とプロフェッショナル人材とのマッチング支援等

●中堅企業とは？

ここでは、常用従業員数で100人以上、1,000人未満程度の企業を「中堅企業」として位置づけています。もちろん、従業員が100人未満であっても、国際舞台に打って出る中小企業の皆様を、政府は積極的にサポートしてまいります。

◆3【公募予告】NEDO・平成28年度

「課題解決型福祉用具実用化開発支援事業」に係る公募について

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）は、平成28年度課題解決型福祉用具実用化開発支援事業に係る助成事業者の公募を行う予定です。詳細はリンク先で確認下さい。

※リンク先 http://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100101.html

●事業内容

1. 概要

「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」に基づき、福祉用具の開発を行う中小企業等に対して助成金を交付することにより、福祉用具の実用化開発を推進し、高齢者、心身障がい者及び介護者の生活の質を向上することを目的としています。詳細は、公募開始時に公募要領で確認してください。

2. 助成率及び助成金の額

- 1) 助成率は、助成対象費用の3分の2以内です。ただし、大企業の出資が一定比率以上の中小企業は2分の1以内です。
- 2) 助成金の額は、1件当たり年間2000万円以内です。
- 3) 研究開発期間は、3年以内です。

3. 公募期間

平成28年3月下旬から平成28年5月中旬の予定です。公募開始予定日は平成28年3月下旬（平成28年3月以降に公募説明会を予定しています。）

●応募方法等

公募要領等の詳細は公募開始日にNEDOのホームページに掲載します。

●問い合わせ先

イノベーション推進部 プラットフォームグループ
担当者：重本、池田、竹内
TEL：044-520-5175 FAX：044-520-5178
E-MAIL：fukushi@nedo.go.jp

◆4【公募予告】NEDO・平成28年度

「新エネルギーベンチャー技術革新事業」に係る公募について（予告）

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）は、平成28年度「新エネルギーベンチャー技術革新事業」に係る実施者を一般に広く募集する予定です。詳細はリンク先で確認下さい。

※リンク先 http://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100100.html

●事業内容

本事業は、再生可能エネルギー分野の重要性に着目し、中小企業等（ベンチャーを含む）が保有している潜在的技術シーズを基にした技術開発を公募により実施するものです。本事業では、申請テーマに関して技術や事業化の面での優位性や独自性等の観点から選抜・育成し、事業化を見据えた技術開発支援を行います。

本事業が対象とする技術分野は、太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス利用、太陽熱利用及びその他の未利用エネルギー分野並びに再生可能エネルギーの普及、エネルギー源の多様化に資する新規技術（燃料電池、蓄電池、エネルギーマネジメントシステム等）です。

平成28年度より、事業内容を拡充し、大規模実証研究開発（フェーズD）に対する支援を開始いたします。また、イノベーション・コスト構想の推進につながる新エネルギー分野の技術開発や実用化・実証研究については、支援を強化して取り組みます。

詳細は、公募開始時に公開される公募要領等をご確認ください。

●応募方法等

公募要領等の詳細は公募開始日にNEDOのホームページに掲載します。

●公募期間（予定）

平成 28 年 3 月中旬～平成 28 年 5 月中旬

●問い合わせ先

イノベーション推進部 プラットフォームグループ

TEL : 044-520-5171 FAX : 044-520-5178

E-MAIL : venture28@nedo.go.jp

◆5 山梨県委託「医療機器設計開発人材養成講座」参加者募集

<http://www.pref.yamanashi.jp/seichosng/2016iryoukiki-kouza.html>

医療機器産業は、今後安定的な成長が見込まれる成長分野の一つであり、高度な加工技術が求められるため、その技術を有している企業が集積している本県にとっても魅力的な産業分野となっています。しかし、この分野へ参入するためには、これまでの知識や技能、経験に加え、薬事法などの各種法規制や、医療機器特有の知識を習得することが必要であり、さらに、医師をはじめとするメディカル・スタッフとのコミュニケーション能力も不可欠となります。

このため、平成 27 年度に引き続き、平成 28 年度も山梨大学において、医療機器の設計開発技術者の養成を目的として、社会人向けの医療機器設計開発人材養成講座を開催することとし、受講生を募集します。

◆募集内容

○出願資格：

- (1)医療機器分野で活動している、又は今後、医療機器分野に参入を目指す企業に勤務している方
- (2)工学系大学、又は高専卒業程度の工学系基礎知識、設計・生産等の実務経験のある方で、医療機器産業へ就職を目指す県内の未就職の方
- (3)医療機器分野において、技術、経営面等で県内製造業との連携や支援を行う企業・団体等に勤務されている方

○募集人員：20 名

○募集期間：平成 28 年 3 月 1 日（火）～3 月 22 日（火）

○受講料：無料。ただし、教材費等の実費負担をお願いする場合があります。

◆講座の概要

○開催期間：平成 28 年 4 月 12 日～平成 29 年 2 月 7 日（全 60 回）

毎週火曜日 18:00～21:00

○講義場所：山梨大学 融合研究臨床応用推進センター、工学部、医学部ほか

○内 容：

- ・医学基礎講座、動物実習、関連医療機器（診療科目ごと）
- ・病院見学、実習（救急、手術室、ICU など）
- ・医療機器実習（医療機器の体験・操作）
- ・医薬品医療機器法概論（医療機器開発関連の規制要件など）
- ・医療機器の基本要件（医療機器の承認・認証・業許可など）
- ・医療機器非臨床試験概論（QMS・品質管理・リスクマネジメントなど）
- ・医療機器市場論（市場性・投資の考え方）
- ・医療機器製作実習、承認申請書作成、模擬審査 ほか

◆問い合わせ先

山梨大学融合研究臨床応用推進センター事務室内

医療機器設計開発人材養成講座担当

電話 055-273-1266 / FAX 055-273-1262

取り扱い時間 平日（月～金）8時30分～17時15分（ただし休日、祝日を除く）



■03: プレス情報（大村先生関係 2件、山梨大学イベント 4件）

※ <http://www.yamanashi.ac.jp/>

◆山梨大学 大村 智 記念基金奨学金制度の設置について（お知らせ）

山梨大学は、本学卒業生である大村智先生のノーベル医学・生理学賞のご受賞を機に、平成27年12月に創設した「山梨大学大村智記念基金」を活用し、大村智先生の「若者の学業を奨励したい」とのご意向を踏まえた人材育成に資するため、新たに奨学金制度を設置します。

詳細は、リンク先を確認お願いします。

http://www4.yamanashi.ac.jp/modules/campuslife_support/index.php?content_id=165

◆山梨大学 大村 智 記念基金 寄附者ご芳名一覧表を掲載します。

寄附者の皆様、本学の山梨大学大村智記念基金にご理解をいただき、ご支援を賜りましたことに深く感謝申し上げます。平成27年12月にご寄附いただきました方々のお名前を山梨大学HPに掲載します。1月以降にご寄附いただきました方々の分につきましても順次掲載してまいります。

今後も引き続き、本学の活動にご注目いただき、ご協力やご助言をいただきますようお願い申し上げます。

◎【山梨大学大村智記念基金 寄附者ご芳名一覧】

<http://www.yamanashi.ac.jp/omura/fund/#gohoumei>

◎【山梨大学大村智記念基金】

http://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/page/2015/omura_fund.pdf

◆3/10 Sir John Gurdon 博士 「生命環境学専攻設置記念講演会」

= 発生工学特別教育プログラム キックオフシンポジウム =

<http://www.yamanashi.ac.jp/event/post-3005/>

生命環境学専攻設置記念講演会を開催します。

詳細は核移植研究会ホームページをご覧ください。

<http://www.ccn.yamanashi.ac.jp/~twakayama/NTHP/index.html>

◎日程：平成28年3月10日(木) 14:00～15:50

◎場所：山梨大学医学部臨床大講堂

◎講師：ジョン・ガードン博士（2012年ノーベル生理学医学賞受賞）

◎次第：

14：00-14：05 開会の辞(早川副学長)

14：05-14：15 生命環境学専攻及び発生工学特別教育プログラムの
紹介(黒澤 尋 専攻長)

14：15-14：35 発生工学技術の未来と人材育成（若山照彦）

14：35-14：45 Gurdon 先生の紹介（宮本圭）

14：45-15：45 講演会（Sir John Gurdon 博士）

15：45-15：50 閉会の言葉（中尾 篤人 医学科長）

◆3/18 農場ゼミ『シャインマスカットの育成について』

<http://www.yamanashi.ac.jp/event/post-3116/>

本学生命環境学部附属農場では、下記のとおり「農場ゼミ」を開催いたします。

ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

【日程】平成28年3月18日(金) 15:00～

【場所】山梨大学生命環境学部附属農場 管理棟2階 実験・講義室
(甲府市小曲町字上五割675-1)

【講師】佐藤 明彦 氏

(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

果樹研究所 ブドウ・カキ研究領域 品種育成研究ユニットリーダー)

【演題】『シャインマスカットの育成について』

【定員】50名

【参加費】無料

【参加申込み方法】参加者氏名・人数、勤務先、連絡先（携帯電話番号など）をメールまたはFAXでお知らせください。（3月16日(水) 17:00締切、定員に達した時点で受付を終了させていただきます。）

【申込み・問い合わせ先】

山梨大学生命環境学部附属農場

TEL：055-241-6384 FAX：055-241-6383

E-mail: hyamashita@yamanashi.ac.jp

◆3/22 ワイン・フロンティアリーダー養成プログラムシンポジウム開催

<http://www.yamanashi.ac.jp/event/post-3119/>

山梨大学は、平成26年度文部科学省「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」事業に「山梨大学ワイン・フロンティアリーダー養成プログラム」が採択され、本学、山梨県、地域ワインメーカーが連携して、地域ワインのブランド化及びグローバルスタンダード化を推進できる「ワイン・フロンティアリーダー」の養成を目指し、事業を進めてまいりました。

このたび、事業開始から1年が経過し、本事業の成果をご報告する機会として「山梨大学ワイン・フロンティアリーダー養成プログラムシンポジウム」を下記のとおり開催いたします。

◎日程：平成 28 年 3 月 22 日(火) 14:30～

◎場所：ベルクラシック甲府（甲府市丸の内 1-1-17 TEL：055-254-1000）

◎プログラム

・挨拶（14:30～14:50）

主催者挨拶（島田眞路 山梨大学学長）

プログラム責任者挨拶（黒澤 尋 山梨大学生命環境学域長）

・講演会（14:50～16:50・3名 各 40 分予定）

●国税局 酒税課 飯島 隆 氏

『日本産酒類の振興の取組みについて ーワイン表示ルールの策定と
地理的表示制度の改正ー』

●山梨県ワイン酒造協同組合理事長・

KOJ 委員長（株式会社ルミエール代表取締役社長）木田 茂樹 氏

『EUにおける KOJ について』

●俺の株式会社 ソムリエ 長谷川 純一 氏

『ソムリエが架けるワインの橋』

・情報交換会（17:20～）

◎定員：100 名（先着順）

◎参加費：無料（ただし、情報交換会のみ 5,000 円申し受けます。）

◎申込方法：

氏名、年齢、住所、E メールアドレス、電話番号（ファックス番号）、情報交換会参加の有無をご記入いただき、E メールまたはファックスで、3 月 16 日(水) 17 時までにお申し込みください。なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。

◎お申込み・お問い合わせ

山梨大学ワイン科学研究センター 〒400-0005 甲府市北新 1-13-1

TEL：055-220-8604 FAX：055-220-8768

E-mail：wine-edu@yamanashi.ac.jp

◆3/24 平成 27 年度 山梨大学 COC「事業成果報告会」開催のご案内

<http://www.yamanashi.ac.jp/event/post-3123/>

山梨大学では、COC 事業において農業分野の衰退に歯止めをかけ、自然と一体となった新たな里づくりを行うという課題の解決に全学的に取り組んでいます。

このたび、地域に学び、課題解決を目的とする「地域課題解決科目」による人材育成及び地域の課題を研究テーマとする「教育研究プロジェクト」の成果を発表する事業成果報告会を開催します。

多数の方のご参加をお待ちしております。

【日時】平成 28 年 3 月 24 日(木) 13:30～15:45（受付 13:00～）

【会場】山梨県立図書館（甲府市北口 2-8-1）

2F 多目的ホール・1F イベントスペース

【定員】100 名（どなたでもご参加いただけます。）

※ 事前のお申込みが必要となります。

【お申し込み】

お申し込みフォームまたは、チラシ□をご確認の上、電子メール・FAX でお申し込みください。

【プログラム】

1. COC 事業報告 (2F 多目的ホール)

- ・主催者挨拶 (13:30~13:35)
- ・平成 27 年度事業報告 (13:35~13:55)
郷 健太郎 山梨大学地域未来創造センターCOC 部門長
演題「山梨大学 COC 事業の取組み -教育・研究・社会貢献から-

2. COC 事業成果報告 (2F 多目的ホール)

- ・平成 27 年度地域志向型教育研究プロジェクト報告 (14:00~14:40)
- ・地域課題解決科目 学生報告 (14:40~15:00)

3. ポスター発表 (15:00~15:45)

- 研究分野 (1F イベントスペース)
- ・地域志向型教育研究プロジェクト
 - ・地方創生支援教育研究プロジェクト
- 教育分野 (2F 多目的ホール)
- ・地域課題解決科目

■お問い合わせ先■

山梨大学地域未来創造センター・COC 部門

TEL : 055-220-8129 FAX : 055-220-8702

E-mail : coc-event@yamanashi.ac.jp

ホームページ : <http://www.coc.yamanashi.ac.jp/>

□■

■ 05 : 他大学イベント案内 他 (2件)

[1] 3/16 東京女子医科大学シンポジウム

「世界に発信する医療機器の事業化戦略」

※ <http://www.twmu.ac.jp/ABMES/FATS/ja/node/420>

東京女子医科大学 弥生記念講堂にて、シンポジウム「世界に発信する医療機器の事業化戦略」(主催：東京女子医科大学先端生命医科学研究所先端工学外科学分野) が 3 月 16 日に開催されます。詳細はリンク先で確認下さい。

●開催主旨

東京女子医科大学は AMED 平成 27 年度国産医療機器創出促進基盤整備等事業に採択されており、「医療機器の企業 Finisher 人材を創出する座学・実学融合プログラム」というテーマで事業を進めて参りました。その総括となるシンポジウム「世界に発信する医療機器の事業化戦略」を 3 月 16 日(水)13:30 から弥生記念講堂で開催します。

医療機器開発企業・研究者の皆様のみならず、薬事やマーケティング等、製品開発の全てのフェーズに携わる方々には、是非この機会をご活用いただきたくご参加をご検討ください。

シンポジウム終了後、情報交換会(参加費：3,000 円)を開催します。当日参加も受け付けておりますので、ぜひこの機会にご参加ください。参加費は無料です。

●開催概要

1. シンポジウムテーマ

世界に発信する医療機器の事業化戦略。医療機器の企業“Finisher”人材を創出する座学・実学融合”プログラム 総括シンポジウム

2. 日 時：2016年3月16日(水) 13:30 -17:00 (開場 13:00)

3. 会 場：東京女子医科大学 弥生記念講堂

4. 参加費：無料

●プログラム

1. 開会挨拶 (東京女子医科大学 村垣 善浩)

2. 冒頭ご挨拶

厚生労働省 医政局経済課医療機器政策室長 三宅 邦明 氏

3. 2015年度 の事業活動報告 (東京女子医科大学 正宗 賢)

4. グローバルビジネスの実行者たち (国外から)

13:50-14:10 インテュイブサージカル 合同会社 合同会社 福田 敏男 氏

14:10-14:30 ブレインラボ 株式会社 恵藤 信一郎 氏

14:30-14:50 InSightec Japan 株式会社 YairYair Bauer 氏

5. グローバルビジネスの実行者 たち (国内から)

15:00-15:20 ミズホ 株式会社 池田 大作 氏

15:20-15:40 株式会社アスター電機 西村 聡晶 氏

6. 新時代の挑戦者たち

15:40-16:00 ファイン・バオメディカル 池田 誠一 氏

16:00-16:20 株式会社 A-Traction 安藤 岳洋 氏

7. 総合討論

8. 特別発言

日本医療研究開発 機構 (AMED) 産学連携 部長 森田 弘一 氏

9. 閉会

シンポジウム終了後、情報交換会 (参加費：3,000円) を開催します。

当日参加も受け付けておりますので、ぜひこの機会にご参加ください。

●事前申込→リンク先で確認下さい。

●問い合わせ先：東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 先端工学外科
kokusan.iryu.twmu@gmail.com (担当：堀瀬、大野、正宗)

[2] 3/17 芝浦工業大学

※ 研究室公開イベント「大宮 産学官連携研究交流会」

※ 地(知)の拠点整備事業(大学 COC 事業)

「2015年度 第2回COC学生成果報告会」(同時開催)

<http://www.twmu.ac.jp/ABMES/FATS/ja/node/420>

芝浦工業大学では、多様な研究と豊富な産学官連携の実績を活かした「新しいものづくり」のヒントやノウハウなどのご提供を目的とした「研究室公開イベント」と「第2回COC学生成果報告会」を同時開催いたします。ご興味がありましたら、ぜひ奮ってご参加ください。

■開催日：2016年3月17日(木)

■場所：芝浦工業大学 大宮キャンパス(総合受付 5号館2階)
JR宇都宮線東大宮駅東口よりスクールバスで5分

<http://www.shibaura-it.ac.jp/access/omiya.html>

■参加費：無料

■お申し込み：本学ホームページ、専用フォームよりお申し込みください

<http://www.shibaura-it.ac.jp/event/2015/80150023.html>

■(1)◆ 産学官連携研究交流会 (13:00～19:00) ◆

第1部：オープニングイベント《13:00～14:50》

○本学の代表者挨拶 副学長 米田 隆志

○コラボ産学官様のご挨拶

○講演①「さいたま地域発の医療機器開発に向けて

～臨床試験と治験、出口を見据えた医療機器開発～

山梨大学 融合研究臨床応用推進センター 特任教授 望月修一氏

○講演②「自動車ヒューマンファクター研究センターにおける自動運転と

医工連携への取組」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

自動車ヒューマンファクター研究センター センター長 北崎智之氏

第2部：各種イベント《15:00～17:00》

①研究室の公開・見学コース

②研究パネル（機器等）の展示コース ※技術相談コーナー有り

③学生団体の展示コース

④先進モビリティコンソーシアムの活動紹介

第3部：懇親会《17:10～19:00》(無料)

■(2)◆ 【同時開催】2015年度 第2回COC学生成果報告会 (15:00～19:00) ◆

芝浦工業大学では、平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)に採択され、本年度は「まちづくり」「ものづくり」の観点から19プロジェクトが活動しています。各プロジェクトではアイデア創出から技術的検討まで、学生中心に進めており、地域の課題を解決できる実践的な技術者を育成する場になっています。

今年度の各プロジェクトの中から秀逸な成果を厳選し、プロジェクトに参加した学生による成果発表を行うことで、本学のCOC活動を通じた教育・研究・社会貢献の成果を皆さまに知っていただければと思います。

タイムスケジュール

《15:00～17:00》

○プレゼンテーション(各プロジェクト90秒×19プロジェクト×2回※)、パネル・

デモ展示 ※第1回 15:05～/第2回 16:00～予定(2回とも同じ内容です。)

良いと思われるプレゼン、パネル・デモ展示には、参加者の皆様に「いいね」

シールを貼っていただきます。

《18:00～19:00》 ○表彰式、懇親会(無料)

■お問い合わせ先

芝浦工業大学 複合領域産学官民連携推進本部

〒135-8548 東京都江東区豊洲 3-7-5

TEL : 03-5859-7180 FAX : 03-5859-7181

E-mail:sangaku@ow.shibaura-it.ac.jp



■04: 関連情報

ヤマナシ織物産地の魅力を伝えるフリーペーパー「LOOM (ルーム)」の発行について (山梨県富士工業技術センター)

◆LOOM とは

富士山のふもとにある“知る人ぞ知る”ヤマナシ織物産地の知名度を高め、魅力を発信するためのフリーペーパー『LOOM (ルーム)』を、このたび山梨県富士工業技術センターより発行することとなりました。

近年、若手後継者を中心とした「ヤマナシハタオリトラベル」など、職人が産地の外へ出て情報発信する活動が始まり、また互いにシンクロするようにファクトリーブランドが生まれ育っているヤマナシ織物産地。しかし、これまで OEM (相手先ブランドでの生地生産) に特化してきたため、まだまだ知名度が低いことが次のステップアップへの課題となっています。

そこで、山梨県富士工業技術センターでは、産地の未来を背負う後継者たち、産地に飛び込んでものづくりをする若者たちにスポットを当て、産地の“時代 (いま)”の姿をとおしてヤマナシ産地の魅力を広く伝えるための媒体『LOOM』を発行いたします。

◆LOOM 発行スケジュール

2016年 2月15日 (月) ~ 配布開始予定 (設置場所…後述)
3月10日 (予定) 山梨県内にて関連イベントを開催
(詳細はブログ「シケンジョテキ」にて告知)

◆LOOM 仕様・内容

○体裁 B5 変形判 50 ページ無線綴/フルカラー/無料/発行部数: 2,000 部

○CONTENTS

糸から布になるまで/甲斐絹の粹/吉田のうどん/Synchronicity (シンクロシティ) /シケンジョテキ/TOOLS ~機織の道具たち~/
Looking from the outside/ヤマナシハタオリトラベルの旅路/
Scene ~織物がある風景~/街を歩けば

◆LOOM 設置場所 ※ブログ <http://shikenjyo.blogspot.jp/>にて随時掲載。

【山梨県内】10 か所

- ・山梨県富士工業技術センター (シケンジョ) (富士吉田市下吉田 6-16-2)
- ・D&DEPARTMENT YAMANASHI by Sannichi-YBS (甲府市北口 2-6-10 山日 YBS 本社 2F)
- ・LONGTEMPS (山梨県富士吉田市下吉田 3-12-54)
- ・hostel & salon SARUYA (山梨県富士吉田市下吉田 3-6-26)
- ・Cafe Naturalrythm (山梨県都留市つる 3-5-16)
- ・富士吉田商工会議所(富士吉田市下吉田 1643?1)
- ・カフェ ナノ.リウム(富士吉田市上吉田 4583-6)
- ・ホテル&レストラン イエスタディ(南都留郡富士河口湖町勝山 3739)
- ・富士河口湖観光総合案内所(山梨県南都留郡富士河口湖町船津 3641-1)
- ・Q-sta ミルショップ(山梨県富士吉田市 上吉田 2-5-1)

【山梨県外】20 数箇所

◆問合せ先

山梨県富士工業技術センター 繊維部 五十嵐、秋本

Tel 0555-22-2100 Fax 0555-23-6671

e-mail kougyo-fj@pref.yamanashi.lg.jp

以上

↑↑↑ 最後まで読んでいただきありがとうございました。↑↑↑



▼ 連絡先

国立大学法人山梨大学

社会連携・研究支援機構

社会連携・知財管理センター

TEL:055-220-8759

FAX:055-220-8757

renkei-as@yamanashi.ac.jp



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。